

令和3年度「専修学校留学生の学びの支援推進事業」

「コロナ禍を踏まえた各地域における外国人留学生の戦略的受入に向けた体制整備」

ニューノーマルにおける外国人留学生の戦略的受入れ体制（京都おこしやすモデル）の構築

成果報告書

令和4年3月

一般社団法人京都府専修学校各種学校協会



KYOTO
Vocational Schools
Network

目次

1. 事業概要	
1. 1－事業の趣旨・目的	P 3
1. 2－実施体制	P 4
1. 3－全体スケジュール	P 4
1. 4－協力機関	P 5
2. 事業成果について	
2. 1. 1－会議体について	P 7
2. 2. 1－（入学前）多言語Webサイトの構築	P 9
2. 2. 2－（入学前）多言語留学パンフレットの制作	P 9
2. 2. 3－（入学前）オンライン留学フェアへの参加	P 10
2. 2. 4－（入学前）動画の制作	P 10
2. 2. 5－（入学前）シンポジウムの開催	P 11
2. 2. 6－（入学前）京都留学アプリの開発	P 11
2. 3. 1－（在学中 教育指導）訪日前遠隔教育システムの構築	P 12
2. 3. 2－（在学中 教育指導）日本国内短期日本語教育プログラムの開発	P 13
2. 4. 1－（調査研究関係）先行事例の調査	P 14
3. 次年度に向けて	P 15

添付資料（1）京都おこしやすモデルリーフレット

（2）オンライン留学フェア報告書（中国、ベトナム、インドネシア）

1. 事業概要

1. 1－事業の趣旨・目的

京都府下においては、日本語教育機関の新規開設や高等教育機関と日本語学校の連携強化等が図られ、近年専修学校の留学生数は2016年の357人に対し、2019年は1,004人（2020年は集計中）と大きく増加している（留学生スタディ京都ネットワーク調べ）。しかしながら、京都府下の大学院・学部・短期大学・高等専門学校は、2019年で10,942人と、日本全体の7.5%を占める一方で、京都府下専修学校の留学生は1.3%（1,004/78,844人）と低い。また、大学コンソーシアム京都「Kyo Tomorrow Academy」では、留学生に、京都を学び、地元産業を深く理解し、地元企業を志向するプロセスを提供する就職支援・交流コミュニティも立ち上げられているが、京都府下専修学校の取り組みは各専修学校によって状況が異なる。

身近で日本の文化・歴史に触れられたり、山紫水明の地、京都は、外国人留学生が職業教育を学ぶにも絶好のロケーションと考えられ、これまで多様な学習ニーズに応じたきめ細かな教育の提供を行ってきた京都の専修学校への留学は魅力が大きいと確信する。

当事業では、オール京都でニューノーマルにおける外国人留学生の戦略的受入れ体制（京都おこしやすモデル）を構築し、留学生が京都で生活する中で、京都ならではの文化・芸術等に触れ親しみ、「日本で学ぶ、京都で学ぶ」動機付けを行う機会を提供するため、各学校・企業、公的機関等と連携しながら、留学生にとって魅力的な環境づくりを推進する。また、訪日前遠隔教育システムやトータル支援パッケージは、専修学校に特化した内容で取り組むとともに、長期化するコロナ禍や新たな危機にも備えられる、持続可能な仕組みを構築することをめざす。

1. 2－実施体制

事業運営委員会、事業推進委員会、産学公連携グローバル推進委員会を有機的に連動させ、プロジェクトを推進した。各委員会の個別の役割は以下の通りとした。

①事業運営委員会（年2回）

本事業の進捗を確認し、事業推進委員会等で行っている各種プロジェクトに対する意見提言を行う。

②事業推進委員会（月1回）

事業計画策定、進捗管理、予算管理等プロジェクト全般の運営・管理を行い、プロジェクトを具体的に推進する。

③産学公連携グローバル推進委員会（年2回）

京都で学ぶ留学生の増加やスキルアップ、満足度、キャリアサポートの推進に向けて、外部有識者を交えて意見交換、協議を行う。

1. 3－全体スケジュール（令和3年度）※期間：令和3年9月～令和4年3月

a.会議体について

①事業運営委員会の開催(12/2,2/8)

②事業推進委員会の開催（11/12,12/16,1/14,2/24）

③産学公連携グローバル推進委員会の開催（12/13,2/24）

b.プロジェクト概要

当プロジェクトでは、オール京都でニューノーマルにおける外国人留学生の戦略的受入れ体制（京都おこしやすモデル）を構築し、留学生が京都で生活する中で、京都ならではの文化・芸術等に触れ親しみ、「日本で学ぶ、京都で学ぶ」動機付けを行う機会を提供するため、各学校・企業、公的機関等と連携しながら、留学生にとって魅力的な環境づくりを推進した。

訪日前遠隔教育システムやトータル支援パッケージは、専修学校に特化した内容で取り組むとともに、デジタルを活用するなど、長期化するコロナ禍や新たな危機にも備えられる、持続可能な仕組みを構築した。令和3年度については、特に入学前関連施策に注力し事業を運営した。

【プロジェクト項目】

入学前	①多言語 Web サイトの構築
	②多言語留学パンフレットの制作
	③オンライン留学フェアへの参加
	④動画の制作
	⑤シンポジウムの開催
	⑥京都留学アプリの開発
在学中（教育指導）	①訪日前遠隔教育システムの構築
	②日本国内短期日本語教育プログラムの開発
調査研究関係	①先行事例の調査

プロジェクトに関する協力体制やそれぞれの具体的な成果については後述。

1. 4 一構成機関・構成員等（令和3年度）

（1）事業運営委員会

	所属	氏名	役割
1	一般社団法人 京都府専修学校各種学校協会 会長	田中 誠二	委員長
2	一般社団法人 京都府専修学校各種学校協会 副会長	小林 靖弘	副委員長
3	一般社団法人 京都府専修学校各種学校協会 副会長	三田 清栄	副委員長
4	一般社団法人 京都府専修学校各種学校協会 理事	竹本 雅信	委員
5	一般社団法人 京都府専修学校各種学校協会 理事	太田 賢	委員
6	一般社団法人 京都府専修学校各種学校協会 理事	影山 弘典	委員
7	一般社団法人 京都府専修学校各種学校協会 理事	加藤 俊明	委員
8	京都調理師専門学校	田中 幹人	委員
9	京都ホテル観光ブライダル専門学校	作岡 友樹	委員
10	一般社団法人 京都府専修学校各種学校協会 事務局	山内 晴子	委員

（2）事業推進委員会

	所属	氏名	役割
1	京都仏眼鍼灸理療専門学校	棟居 清峰	委員
2	京都理容美容専修学校	溝上 知子	委員
3	京都医健専門学校	八島 由佳子	委員
4	京都コンピュータ学院	西村 祐二郎	委員
5	京都 YMCA 国際福祉専門学校	阿部 和博	委員
6	京都栄養医療専門学校	高橋 周二	委員
7	京都調理師専門学校	田中 幹人	委員長
8	京都ホテル観光ブライダル専門学校	作岡 友樹	副委員長
9	一般社団法人 京都府専修学校各種学校協会 事務局	山内 晴子	委員

（3）産学公連携グローバル推進委員会

①教育機関

	氏名	所属	役割
1	棟居 清峰	京都仏眼鍼灸理療専門学校	委員
2	溝上 知子	京都理容美容専修学校	委員
3	八島 由佳子	京都医健専門学校	委員
4	西村 祐二郎	京都コンピュータ学院	委員
5	阿部 和博	京都 YMCA 国際福祉専門学校	委員
6	高橋 周二	京都栄養医療専門学校	委員
7	田中 幹人	京都調理師専門学校	委員長
8	作岡 友樹	京都ホテル観光ブライダル専門学校	副委員長
9	井尾 美穂	ISI ランゲージスクール	委員
10	近藤 和行	京進ランゲージアカデミー	委員

11	母 育新	西安外国語大学	委員
12	周 莉	青島酒店管理職業技術学院	委員
13	福村 志郎	PT. JELLYFISH EDUCATION INDONESIA	委員
14	Verawati	PT. COKRO PANGUKIR CAHAYA (Coach)	委員
15	NGUYEN VAN Hao	ドンドー日本語センター	委員

②企業・団体

氏名		所属・職名	役割
1	山内 晴子	一般社団法人 京都府専修学校各種学校協会 事務局	委員
2	西尾 知	留学生スタディ京都ネットワーク事務局長	委員
3	行元 沙弥	NPO 法人グローバル人材開発センター代表理事	委員
4	北田 亮介	株式会社 FREEMIND 取締役	委員
5	大西 開	株式会社共立メンテナンス 寮事業本部京都支店長	委員
6	余田 泰洋	株式会社ジェイオフィス代表取締役社長	委員
7	川崎 敏矢	TERAFUL 代表	委員

③行政機関

氏名		所属・職名	役割
1	八木 寿史	京都府国際課 参事	委員
2	栗山 晃司	公益社団法人京都府観光連盟 専務理事	委員

④オブザーバー

氏名		所属・職名
1	川本 一範	京都市 総合企画局総合政策室大学政策担当 留学生支援・大学連携推進 担当

2. 事業成果について

2. 1. 1 一会議体について



a. 事業運営委員会

第1回日時：2021/12/2 16:00-17:00

参加者：10名

議題：報告事項1. 今年度の取り組み進捗状況について（説明10分）

（1）先進事例調査（岡山県および香川県）

（2）第1回事業推進委員会

審議事項1. 各事業の選定業者について（説明5分、審議5分）

協議事項1. パンフレットおよびWebサイトの内容について（説明10分協議20分）

第2回日時：2022/2/8 16:00-17:00

参加者10名

議題：報告事項1. 今年度の取り組み進捗状況について（説明15分）

（1）多言語Webサイトの構築

（2）多言語留学パンフレットの制作

（3）SNSおよび動画共有プラットフォームの活用

（4）日本留学フェアの開催

審議事項1. 記念シンポジウムの開催について（説明5分、審議15分）

協議事項1. 2022年度取り組みの方向性（説明5分、審議15分）

b. 事業推進委員会

（11/12,12/16,1/14,2/24）

1回目日時：2021/11/12 13:00-14:00

参加者：8名

議題：報告事項1. 当事業の概要（説明15分）

協議事項1. 委託業者の選定（説明15分、協議15分）

2回目日時：2021/12/16 15:00-16:00

参加者：7名

議題：協議事項1. 今年度の取り組みについて（説明10分、協議30分）

①<入学前>多言語Webサイトの構築

②<入学前>多言語留学パンフレットの制作

③<入学前>SNSおよび動画共有プラットフォームの活用

- ④<在学中>「京都留学アプリ」の開発
- ⑤<在学中>訪日前遠隔教育システムの構築
- ⑥<在学中>日本国内短期日本語教育プログラムの開発
- ⑦<その他>先行事例の調査

3回目日時：2022/1/14 14:00-15:00

参加者：9名

議題：協議事項1. 今年度の取り組みについて（説明10分、協議30分）

- ①<入学前>多言語 Web サイトの構築
- ②<入学前>多言語留学パンフレットの制作
- ③<入学前>SNS および動画共有プラットフォームの活用
- ④<入学前>日本留学フェアの開催（越・尼）
- ⑤<その他>記念シンポジウムの開催について

4回目日時：2022/2/24 11:00-12:00

参加者：9名

議題：協議事項1. 今年度の取り組みについて（説明10分、協議30分）

- ①記念シンポジウムの開催について
- ②「京都おこしやすモデル」申し込みフローについて
- ③2022年度の取り組みについて

c. 産学公連携グローバル推進委員会

1回目日時：2021/12/13 15:00-16:00

参加者：24名

議題：報告事項1. 当事業の概要について（説明5分）

報告事項2. 他府県の取り組みについて（説明5分）

協議事項1. 今年度の取り組みについて（説明10分、協議30分）

- (1) 多言語 Web サイト
- (2) 多言語留学パンフレット

2回目日時：2022/2/24 10:00-11:00

参加者：20名

議題：報告事項1. 今年度の取り組み進捗状況について（説明15分、質疑15分）

- (1) 多言語 Web サイトの構築
- (2) 多言語留学パンフレットの制作
- (3) 動画の制作（インタビュー、専門技術、京都紹介、当事業紹介）
- (4) 日本留学フェアの開催（中国、ベトナム、インドネシア）
- (5) 記念シンポジウムの開催（3/9）

協議事項1. 2022年度取り組みの方向性（説明5分、協議20分）

2. 2. 1 - (入学前) 多言語Webサイトの構築

京都府下の専修学校を広く国内外に発信し、より多くの外国人留学生在が京都を留学先として認知し、各専修学校外国人留学生誘致をサポートとするものとして、また京都で学ぶ留学生在が支援サービスの情報を容易に入手できるサイトを作成した。多言語対応として、日本語のほか、英語・中国語（簡体字）、ベトナム語ページを準備。



2. 2. 2 - (入学前) 多言語留学パンフレットの制作

京都府下の専修学校を広く国内外に発信し、より多くの外国人留学生在が京都を留学先として認知し、各専修学校外国人留学生誘致をサポートとするものとして、また京都で学ぶ留学生在が支援サービスの情報を容易に入手できるパンフレットを作成した。多言語対応として、日本語のほか、英語・中国語、ベトナム語版を準備。



2. 2. 3 - (入学前) オンライン留学フェアへの参加

京都府下の専修学校を広く国外に発信し、より多くの外国人留学生が京都を留学先として認知し、各専修学校外国人留学生誘致をサポートとするものとして、また京都で学ぶ留学生が支援サービスの情報を容易に入手できる留学フェアを実施した。中国、ベトナム、インドネシアとオンラインでつなぎ、各国1回ずつ実施。

【中国】	2021/11/11 13:00-14:30	参加者：1,766名
【ベトナム】	2022/01/15 12:00-14:00	参加者：約600名
【インドネシア】	2022/01/22 12:00-14:00	参加者：約130名

当日の様子（中国）



当日の様子（インドネシア）



当日の様子（ベトナム）



当日の様子（ベトナム）



2. 2. 4 - (入学前) 動画の制作

京都府下の専修学校を広く国内外に発信し、より多くの外国人留学生が京都を留学先として認知し、各専修学校外国人留学生誘致をサポートとするものとして、また京都で学ぶ留学生が学校情報を入手できる動画を9本作成。留学生自身がより自身のキャリアデザイン、ライフデザインがしやすいよう、在校生や卒業生から京都や専修学校の魅力等を伝えてもらう内容とした。

在校生メッセージ（将来の夢）



在校生メッセージ（京都の魅力）



2. 2. 5 - (入学前) シンポジウムの開催

京都府内における専修学校に進学する留学生誘致プロジェクト「京都おこしやすモデル」発足を記念してシンポジウムを開催した。

京都おこしやすモデルプロジェクト発足記念シンポジウム

開催日時 2022/3/9 (水) 15:00~17:00 (開場は14:30~17:30)

会場 京都私学会館 大会議室

参加費 無料 (要事前申込)

参加人数 108名 (会場参加35名+Zoom ウェビナー73名)

主催 一般社団法人京都府専修学校各種学校協会

後援 京都府

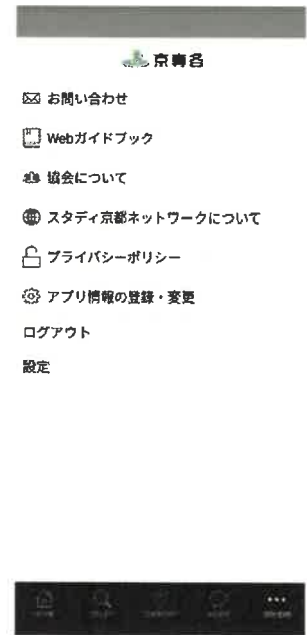
- 次第 (1) 開会 学校法人大和学園 副理事長 田中 幹人 (事業推進委員長)
- (2) 京都府ご祝辞 京都府文化スポーツ部文教課長 勝山 享 様
- (3) 基調講演「専門学校卒業後の外国人就労における基本」
日本料飲外国人雇用協会 大阪支部長 田中 陽介
- (4) パネルディスカッション
「京都の専門学校で学ぶ留学生を増やし、優秀な人材を社会に輩出するためには」
パネリスト：日本料飲外国人雇用協会 大阪支部長 田中 陽介
ISI ランゲージスクール京都校 副校長 井尾 美穂
留学生スタディ京都ネットワーク 事務局長 西尾 知
京都ホテル観光ブライダル専門学校 校長代行 作岡 友樹 (事業推進副委員長)
- (5) 京都おこしやすモデル紹介
京都YMCA国際福祉専門学校 副校長 阿部 和博 (事業推進委員)
- (6) 閉会 京都理容美容専修学校 事務局事務部長 溝上 知子 (事業推進委員)

当日の様子 (パネルディスカッション) :



2. 2. 6 – (入学前) 京都留学アプリの開発

京都府下の専門学校に入学が決まった留学生向けにアプリを開発する。入学前から在学中、卒業後に至るまで、必要な情報すべて集約されたアプリをめざし、複数に分散している情報をまとめて提供するワンストップサービスを実現。



2. 3. 1 – (在学中 教育指導) 訪日前遠隔教育システムの構築

京都府下の専門学校に入学が決まった留学生向けに訪日前遠隔教育コンテンツを制作。

京都の特徴を日本語で紹介することで訪日前の遠隔教育コンテンツとして活用。京町家や寺社、生活にフォーカスすることで、京都についての理解を深め、また興味を持ってもらうことで訪日後の京都でのスムーズな生活にもつなげる。

【テーマ①】京町家の歴史と活用

京都の伝統的な家の形態であった京町家のつくりやしくみと現代における活用方法や保全をしっかりと、日本の伝統的な建築についての理解と興味を高める。

<内容>歴史、構造や機能、空き家問題などを講義形式

現代に生かされた京町家の活用方法の例をインタビュー形式で紹介 (3 箇所)
まとめ

<取材>龍谷大学深草町家キャンパス (伏見)

sumao すまいの雑貨店 (四条堀川)

てらはうす (二条)

【テーマ②】京都のお寺とオススメのお寺

「京都」の雰囲気構成するお寺についての理解を深め、京都のお寺の魅力 (観光寺としての活用方法等) についてしっかりと、興味を持つきっかけをつくる。

<内容>日本のお寺の概要と歴史

京都のお寺の歴史と概要

現代のお寺の活用方法 (観光寺やこれからの活用法

インタビュー紹介 (2 箇所)

<取材>正寿院
一念寺

【テーマ③】京都 で学ぶ意義

勉強できるカフェや繋がりを作れる場所を紹介することで、京都で過ごすことによる楽しさやメリットを感じていただき将来京都で過ごしたいという思いを持ってもらう

<内容>専門学校の多さや学生の多さなどの学生に関連する情報*

実際に学生が多く集まる場所、生活できる場所、観光場所のインタビュー
まとめ

*学生に関連する情報（学生の街、専門学校の数、観光スポット、カフェ・喫茶店、歴史を体感できる街、銭湯の多さ等）

<取材>QUESTION

京都で学ぶ意義：



2. 3. 2 - (在学中 教育指導) 日本国内短期日本語教育プログラムの開発

専門学校入学後の授業をはじめからスムーズに参加できるよう専門分野の技術紹介動画（基本技術）を作成した。

各分野の基本技術（コンピュータ）：



2. 4. 1- (調査研究関係) 先行事例の調査

企業や団体の先進的な取り組みから学び、当事業それぞれの取り組みに活かしていくことを目的に、一般社団法人岡山県専修学校各種学校振興会、株式会社モスフードサービス、一般社団法人香川県専修学校各種学校連合会へのインタビュー調査を実施した。

<日程> 2021年11月 岡山県専修学校各種学校振興会
2021年12月 モスフードサービス (オンライン)
2021年12月 香川県専修学校各種学校連合会

【企業の取り組み (モスフードサービス)】

…2019年10月より、ベトナム国立ダナン観光短期大学と提携し、外食向けの特定技能ビザ取得を支援する教育を開始している。外国人の受入れから就職支援まで一貫通貫のプログラムであることから今回の事業の参考になった。

【教育機関の取り組み (香川県専修学校各種学校連合会、岡山県専修学校各種学校振興会)】

…令和2年度の専修学校グローバル化対応推進支援事業に採択されていた専修学校の取り組み(香川県、岡山県)に関しても先行事例として調査を行い、アプリ開発の取り組みの実績などは大いに参考になった。

当日の様子 (岡山県)



当日の様子 (香川県)



当日の様子 (モスフードサービス)



3. 次年度に向けて

今期は、多言語 Web サイトやパンフレットの制作、オンライン留学フェアへの参画など、入学前の取り組みを推進してきたが、次年度はこれらの取り組みをブラッシュアップするとともに、在学中の教育指導や在籍管理、生活支援サポートに関する取り組みにも注力する。専門学校入学前教育プログラムの展開や留学生向けコンクール／コンテストの開催、留学生交流会等のイベント実施、京都文化体験の実施など実際日本にいる留学生に対するプログラムを積極的に展開したい。また、各種生活サポート体制の整備や、アプリを活用した効果的な各種サポートの展開、さらには留学生担当教職員ネットワークの構築にも取り組む予定である。

<成果報告書>

本報告書は、文部科学省の教育政策推進事業委託費による委託事業として、《一般社団法人京都府専修学校各種学校協会》が実施した令和3年度「専修学校留学生の学びの支援推進事業」の成果をとりまとめたものです。